



学校教育目標

ここに学び ここで遊ぶ ここがふるさと上山の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyama/>

かみやま



子どもの心に寄り添って

校長 照沼 隆二

10月に通常登校が始まり1か月が経ちました。

学校生活も、日常が戻りつつあります。もちろん感染防止対策は怠りません。「マスク着用」「消毒」「ソーシャルディスタンスの確保」「教室等の換気の励行」など児童の健康・安全を第一に考えて活動を行っています。

そのような中でも、児童の学習活動が通常の形に戻りつつあるところがうれしく思います。

これまで、活動を控えめにしていた音楽科や家庭科など、学習の場の制限が緩和されました。子どもの歌う声やリコーダーの音が聞こえてくるのは、やはりいいなあと感動しています。

区役所や他機関等の皆様による「出前授業」も再開しています。授業に入っただけで、専門的な意見や器具等を使った具体的な説明などを聞くと学習内容の理解も深まります。

運動会に向けた準備の活動も進んでいます。子ども達が互いに話し合ったり、協力し合ったりすることは、学校生活においては何よりも大切な営みです。感染防止に留意しながらも、コミュニケーションをとりながら学習できることは本当にありがたいことだと思います。

子ども達が楽しみにしている宿泊学習や全校遠足、校外学習なども始まり、実施に向けた学習も進んでいます。ただ、これまでできなかった行事等が、延期となつて、11月、12月に集中している状況です。行事に向けた学習が重なっている学年もあります。

コロナ禍による生活環境や社会生活の変化などを背景とした子どもの心の変化に目を向けながら、子ども達の負担が過重にならないよう子どもの心情に寄り添ってかかわっていきたいと考えます。